

## 日韓フィラー表現対照の試み —「あの一」「ええと」「なんか」と「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」の機能—

小島堅嗣

### キーワード

フィラー, フィラーの機能, ディスコースマーカー, 言いよどみ, 日韓対照

### はじめに

談話の中には、その表現をとり除いても全体の意味に影響を与えない‘フィラー’ (fillers), ‘ディスコースマーカー’ (discourse markers) および‘言いよどみ’ (hesitations) と呼ばれる表現が存在する。研究者によって異なる表現が用いられているのであるが、これらの語は同じ現象を表している。本稿では、山根 (2002) に従い‘フィラー’という語を用いる<sup>(1)</sup>。‘フィラー’としては各言語に似たような表現が存在するが、その表現の持つ機能まですべて一致しているわけではない。

本研究では、日本語のフィラー表現である「あの一」、「ええと」、「なんか」と韓国語のフィラー表現である「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」を対照し、日韓のフィラー表現における機能の範囲をあきらかにすることを目的とする。

### 1. 先行研究

日韓のフィラー研究は、主に Schifffrin (1987) の枠組みが出発点となっている<sup>(2)</sup>。Nagura (1997) は Schifffrin の4つの定義、すなわち (1) 統語的に談話から分離できるもの、(2) 通常、談話の中の決まった位置に現れるもの、(3) ポーズや強勢などの韻律的特徴を伴うもの、(4) 談話の狭い範囲にも、全体にも適用されるものを挙げ、この4つが日本語にも適用できるものであると指摘した。박석중 [パクソクチュン] (2007) や이원표 [イウォンピョ] (2001) は、Schifffrin の「談話の中における連続的な依存要素である単位」という認識に基づいて、韓国語のフィラー分析をおこなっている。特に이원표 [イウォンピョ] (2001) では、韓国語の例文を用いて具体的に例証している。

一方、フィラー表現の機能に関しては、定延・田窪 (1995) が明確な分類を提示している。定延・田窪は、言語表現全体を①話し手の心内に貯蔵されている情報データに関わるものと、②話し手の心的操作に関わるもの (話し手が心内で行う、入出力・登録・検索・計算・編集などの処理操作) に分けた。そして、②のように心内の処理操作を外部に示すところの感動詞、終助詞、接続 (助) 詞などを特に「心的操作標識」と呼んでいる。本研究の目的は、定延・田窪が提唱する「心的操作標識」の中の感動詞の一部に焦点を当て、日本語の表現と韓国語の表現の対照分析を試みる。

## 2. 日韓フィラーの機能対照

### 2.1 日本におけるフィラーの機能研究

まず日本におけるフィラーの機能研究について述べる。先行研究で紹介したように、定延・田窪（1995）は話し手が心内で行う様々な処理を感動詞などの形で発話したものを「心的操作標識」と呼んだ。そして、具体的な感動詞の例として「あの一」と「ええと」を挙げて説明している。まず「あの一」には‘言語編集’の機能がある。‘言語編集’とは、話し手が聞き手に伝えるべき適切な内容を脳内で検討していることを指す。次に「ええと」には‘検索’と‘計算’の2つの機能がある。‘検索’は物の名前を思い出す（該当する名称を脳内の引き出しから取り出す）機能であり、‘計算’は脳内で数値の加減乗除の処理をする機能である。

以下に‘言語編集’、‘検索’、‘計算’の例文を1つずつ示す（例文はすべて定延・田窪（1995）によるものであるが、筆者によって話者の表示をA、Bに変え、また感動詞に下線を施した）。

‘言語編集’

A : このメーカーのキーボードはどこでも修理してくれなくて。

B : あの一、サービスセンターに行かれたらどうですか。

‘検索’

A : 今度の映画の監督って誰だっけ？

B : ええと、ああ、『スター・トレック』でスポックやった人だ、レナード・ニモイ。

‘計算’

A : 1234足す2345は？

B : ええと、1234足す2345ですね。よし、紙あります？

また本間（2008）では、「なんか」の機能について次の（1）から（3）の3つの用法を提示している。以下、例文とともに1つずつ示す（下線は筆者による）。

（1）不確実・不確定をメタメッセージとして伝える用法

[結婚後、仕事を続けるかどうかというテーマで、自分の考えを述べている]

A : なんか最初は一絶対働くぞみたいな、もう、会社入っても、結婚してもずっと仕事、とか思ってたんだけど。

（2）次の発話が相手に委ねられている用法

[Bが履修している怖い先生の授業について]

A : それは何、相変わらず、Bは気に入られてるの？

B : まあまあ、てかみんなもうやめちゃって、もうなんか。

（3）共感・同意を促進させる用法

[結婚後、仕事を続けるかどうかについて]

A : はー, 難しい話だよ, なんか.

B : 難しいですね。

## 2.2 韓国におけるフィラーの機能研究

次に韓国におけるフィラーの機能研究について述べる。이원표 [イウォンピョ] (2001) では、フィラーの機能について (1) 情報探索, (2) 校正 (repair), (3) 話し手と聞き手が相互作用的目的を成就するために使うもの, という3点を挙げている。以下に例文を挙げる (韓国語の例文はすべて이원표 [イウォンピョ] (2001) のものであるが, 日本語訳および下線は筆者による)。

### (1) 情報探索

통화개혁 하듯이 확 바뀌거나 그러는 거 바뀌는 건 아니겠쥬.

그렇지만… 뭐야, 뭐야, 그러는 건 아니겠지만 그런 의식적인 노력 계속 필요하구.

通貨改革というものは, ぱっと変えられるものではないでしょう。

そうだけれども, ええと, ええと, そのようなものではありませんが,

そのような意識的な努力を続けていくことが必要なのです。

### (2) 校正 (repair)

우리 동네 아이들은 고등학교, 뭐야, 중, 고등학교 가는 것도 힘들었으니까

うちの近所の子供は高等学校, あの一, 中・高等学校へ行くこともたいへんですから。

### (3) 相互作用

A : 아니, 아니 인제 그 건 그렇다하더라도.

B : 고소는 이명선 씨가 행방을 감추고 난 다음 달 10월 달에 한거고요.

A : 그런데, 그 뭐야, 은행에 사채를 내니까

A : いや, いや, それはそうだとしても。

B : 告訴は, イミョンソンさんが行方をくらまして, 私が次の月の10月にするんだけど。

A : それで, そのなんか銀行から借金をしているから。

2.1と2.2で述べた日韓のフィラー表現の機能を一覧表にしたものが表1である。

表1. 「あの一」, 「ええと」, 「なんか」と「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」の機能対照表

|     |  |   |       |
|-----|--|---|-------|
| あの一 | 言語編集   | 校正 (repair)                                   | 뭐, 뭐야 |
| ええと | 検索, 計算   | 情報探索  |       |
| なんか | 不確実, 不確定を<br>メタメッセージとして<br>伝える<br>次の発話が相手に委ねられている<br>共感・同意を促進させる | 不確実な事実に対する話者の態度<br><br>躊躇<br>相互作用目的を成就するための装置 |       |

表1の「あの一」, 「ええと」の機能は定延・田窪 (1995), 「なんか」の機能は本間 (2008),

「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」の機能は이원표 [イウォンピョ] (2001) によるものである。

韓国語の表現を中心に見ていくと、まず「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」は発話内容を校正する機能を持っている。これは日本語の「あの一」が発話前に言語編集によって校正を行っているのと同じである。次に、話し手が持っている情報を探索する(探し求める)機能があり、これはすなわち「ええと」が持っている検索の機能と一致する。また、「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」の機能を「なんか」が持っている3つの機能とそれぞれ比較すると、(1)「不確実な事実に対する話者の態度」と「(話し手が聞き手に話す内容が) 不確実、不確定をメタメッセージとして伝える」が、(2)「躊躇」と「(話し手が言いにくい内容であるために) 次の発話が相手に委ねられている」が、さらに(3)「(話し手と聞き手の) 相互作用目的を成就するための装置」が「(話し手と聞き手の) 共感・同意を促進させる」にほぼ一致する内容であることがわかる。

ただし表1において、日本語と韓国語の機能が不一致であるものが1つ存在する。それは、「ええと」の(数値の加減乗除の処理である)「計算」の機能が「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」にないことである。そのため表1には「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」に一致する機能がないという意味で二重線を付した。

### 3. 考察

分析の結果から、韓国語のフィラー「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」は日本語の「あの一」、「ええと」、および「なんか」の3つのフィラーの機能を包含していることがわかった。ただし例外として「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」には「ええと」の持つ計算の機能がないことも明らかになった<sup>(3)</sup>。今回得られた結果から、韓国人日本語学習者と日本人韓国語学習者が直面する可能性がある問題点を挙げる(例の対話部分は筆者の作例である)。

#### (1) 韓国人日本語学習者の問題点

- ① 韓国人学習者は「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」と「あの一」、「ええと」、「なんか」の機能の区別がないために、日本語母語話者である聞き手に若干違和感を抱かせる表現の選択をしよう場合がある。

例) A : ソウル市の人口はどのくらいですか。

B : あの一, 5千万人くらいです。

これは、「ええと」を使うのが自然な場面である。

- ② すべてのフィラーを1つの表現で済ませてしまうことで、日本語母語話者である聞き手に違和感や失礼な印象を持たれてしまう場合がある。

例) A : ソウル市庁について詳しく説明できますか。

B : はい、できます。まずなんか……地下鉄1号線の駅があって便利です。

それから市庁の前に広場があって、なんか10月2日に国際交流のお祭りがあってにぎやかでした。

最初のフィラーは「ええと」、2番目のフィラーは「あの一」または「ええと」を使うのが自然な場面である。

## (2) 日本人韓国語学習者の問題点

数値の計算をするときに、「ええと」のつもりで「뭐 (mwo)・뭐야 (mwoya)」を使うと韓国語母語話者である聞き手は違和感を感じる可能性が高い<sup>(4)</sup>。

## おわりに

本稿では日韓のフィラー表現の機能について、ほんの一部を取り上げ、対照し考察したにすぎない。しかしこのような対照と考察を日韓のフィラー表現全体にわたって行うことによって、外国語としての日本語教育、および外国語としての韓国語教育に貢献できる知見が得られるのではないかと考えている。そのため今回調査した以外のフィラー表現の調査も行い、総合的な日韓フィラー表現機能対照表を作成することが筆者にとって今後の大きな課題である。

## 注

- (1) 本稿では‘フィラー’を山根 (2002) のいう「それ自身命題を持たず、かつ他の発話と狭義の応答関係を持たない、発話の一部を埋めることば」という定義で用いる。
- (2) Schiffrin (1987) は「discourse markers」という語を用いている。
- (3) 韓国の2年制大学日本語科の学生 (2年生) 20名に対してインタビューをしたところ、韓国では「음 (eum)」という表現を多く用いているとのことである。
- (4) (3) と同様、韓国の2年制大学日本語科の学生 (2年生) 20名に対するインタビューの結果による。

## 引用文献

- 本間妙 (2008) 「談話標識「なんか」に関する一考察－談話標識「ちょっと」と比較して」『日本語教育世界大会2008』 予稿集2, 210-213.
- イウォンピョ (2001) 『談話分析』 韓国文化社.
- 이원표 (2001) 『담화분석』 한국문화사.
- Nagura, Toshie (1997) Hesitations (Discourse Markers) in Japanese 『世界の日本語教育』 7, 201-218.
- パクソクチュン (2007) 「談話表示化の程度性に対する一論理－なに, どこ, なぜを対象に－」『ハンマル研究21号』 ハンマル研究学会, 87-105.
- 박석준 (2007) 「담화표시화의 정도성에 대한 한 논의－뭐, 어디, 왜 를 대상으로－」『한말연구』 21호 한말연구학회, 87-105.
- 定延利之, 田窪行則 (1995) 「談話における心的操作モニター機構－心的操作標識「ええと」と「あのー」－」『言語研究』 108, 74-93.
- Schiffrin, Deborah (1987) *Discourse Markers*. Cambridge University Press.
- 山根智恵 (2002) 『日本語の談話におけるフィラー』 くろしお出版.